令和６(2024)年度　病害虫発生予報　第10号

令和７(2025)年１月24日
栃木県農業総合研究センター
環境技術指導部

病害虫の早期発見に努め、適切に防除しましょう！

予想期間１月下旬～２月下旬　　予報の根拠で、(＋）は増加要因、(－）は減少要因を表す。

１　いちご　灰色かび病

（１）発生予想　発生量：**やや少ない**

（２）根　　拠
・現在の発生量は少ない。(－)
・向こう１か月の気温は高く(－)、降水量はほぼ平年並(±)、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・多湿条件において発生しやすいので、下葉を除去し株元の風通しをよくするとともに、かん水過多にならないように注意する。
・発病した果実や果梗等は伝染源となるので、放置せずに取り除き、ほ場外で適切に処分する。
・予防を主体に、ファンタジスタ顆粒水和剤(RAC　コード　F:11)等を葉裏にもよくかかるように散布する。

（４）備　　考
・灰色かび病薬剤感受性結果①、②を当センターホームページ（HP）に掲載中。

２　いちご　うどんこ病

（１）発生予想　発生量：**平年並**

（２）根　　拠
・現在の発生量は平年並（ほ場率：平年比124%、株率：平年比100%)。(±)
・向こう１か月の気温は高く(－)、降水量はほぼ平年並(±)、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・株が軟弱徒長すると発生しやすくなるので、適正な温度管理やかん水を行う。
・予防を主体に、アフェットフロアブル(F:７)等を葉裏にもよくかかるように散布する。
・曇雨天時にはくん煙剤を使用するが、硫黄くん煙は天敵に対し悪影響があるので天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理は避ける。

３　いちご　ハダニ類

（１）発生予想　発生量：**やや多い**

（２）根　　拠
・現在の発生量は平年並（ほ場率：平年比98%、株率：平年比100%)。(±)
・向こう１か月の気温は高く(＋)、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。
・化学農薬に対する感受性低下が起こりやすいため、RAC　コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
・天敵導入時にハダニ類が多いと失敗しやすいので、天敵導入前に気門封鎖剤や天敵に影響の小さい薬剤を散布し、ハダニ類の増殖を抑制しておく。

（４）備　　考
・ナミハダニ薬剤感受性検定結果を当センターHPに掲載中。

４　いちご　アザミウマ類

（１）発生予想　発生量：**多い**

（２）根　　拠
・現在の発生量はやや多い（ほ場率：平年比179%、株率：平年比167%)。(±～＋)
・向こう１か月の気温は高く(＋)、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・花を良く観察して、低密度のうちに、マッチ乳剤(I:15)等を散布する。
・ハウス内で越冬したアザミウマ類は１～2　月頃から増殖しはじめる。春先の被害を抑えるため、秋に発生が認められたハウスでは、マッチ乳剤(I:15)等で適切に防除する。

（４）備　　考
・防除のポイントNo.19、アザミウマ薬剤感受性検定結果①、②を当センターHPに掲載中。

５　いちご　アブラムシ類

（１）発生予想　発生量：**多い**

（２）根　　拠
・現在の発生量はやや多い（ほ場率：平年比135%、株率：平年比300%)。(±～＋)
・向こう１か月の気温は高く(＋)、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・被害株周辺のマルチには、アブラムシ類の分泌する甘露や白い脱皮殻が付着するため、被害株を見つける目安となる。

・ほ場をこまめに観察し、発生を確認したらウララDF（I:29）等を葉裏にもよくかかるように散布する。

6　トマト　灰色かび病

（１）発生予想　発生量：**やや多い**

（２）根　　拠
・現在の発生量は平年並（ほ場率：平年比109%、株率：平年比80%）。（±）
・向こう１か月の気温は高く（－）、降水量はほぼ平年並（±）、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。
・発病した果実や葉等は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で適切に処分する。また、枯れ込んだ葉先から病徴が広がるため、こまめに取り除く。
・予防を主体に、セイビアーフロアブル２０（F:12）等を葉裏にもよくかかるように散布する。

（４）備　　考　灰色かび病薬剤感受性結果①、②を当センターホームページ（HP）に掲載中。

7　トマト　すすかび病

（１）発生予想　発生量：**やや多い**

（２）根　　拠
・現在の発生量はやや多い。（±～＋）
・向こう１か月の気温は高く（－）、降水量はほぼ平年並（±）、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。
・発病葉は伝染源となるため、発生初期に速やかに取り除き、施設外で処分する。
・予防を主体に、トリフミン水和剤（F:3）等を葉裏にもよくかかるように散布する。

（４）備　　考
・すすかび病薬剤感受性検定結果を当センターHPに掲載中。

8　果菜類　コナジラミ類（トマト：黄化葉巻病（TYLCV）、黄化病（ToCV）・きゅうり：退緑黄化病（CCYV））

（１）発生予想　発生量：**多い**

（２）根　　拠
・現在のコナジラミ類の発生量は、トマトときゅうりでやや多い。（±～＋）
・向こう１か月の気温は高く（＋）、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み。

（３）対　　策
・ウイルスを媒介するコナジラミ類の侵入を防ぐため、ハウスの開口部（出入り口、側窓、天窓）に0.4mm目合以下のネットを張り、特に出入り口は二重にする。
・黄色粘着板の設置により、コナジラミ類の早期発見に努める。
・ウイルス病の発病株は伝染源となるため、見つけ次第抜き取る。抜き取った株は放置せず、土中に埋設するか、ポリ袋などで密封し枯死させてから処分する。
・耐病性品種を作付けした場合でも、コナジラミ類を防除する。

（４）備　　考
・防除のポイントNo22、タバココナジラミ薬剤感受性検定結果を当センターHPに掲載中。

9　その他の病害虫

作物名	病害虫名	現　況	発生予想	作物名	病害虫名	現　況	発生予想
トマト	うどんこ病	平年並	**平年並**	きく	ハダニ類	やや少	**平年並**
にら	アザミウマ類	やや多	**多**		アザミウマ類	やや多	**多**

【 季節の病害虫防除対策 】

〇水稲　スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミリンゴガイは水田や用排水路で土中に潜って越冬します。県内では、足利市・小山市・野木町の排水路等で発生が確認されています。次作へ向けて、越冬密度を下げる以下の対策を行いましょう。
・トラクターによる耕うんを行い、越冬個体を物理的に破壊するとともに、寒風にさらす。
・水路の泥上げにより、越冬場所をなくし越冬個体を寒風にさらす。

〇トマト・なす等　トマトキバガ

今年度、栃木県内で初めてトマトキバガのフェロモントラップへの誘殺が確認されました（令和６(2024)年度病害虫発生予察特殊報第１号）。また、本県のトマトで被害が確認されましたので、ほ場内をよく観察し、疑わしい虫や被害を見つけた場合には、適切に薬剤防除を行いましょう。

〇果樹類　病害

整枝・せん定作業時には、罹病枝を取り除くか被害部を削り取り、切口にゆ合剤を塗布しましょう。また、落葉は様々な病害の伝染源となるため、適切に処分しましょう。

【 農薬の安全使用等 】

〇薬剤抵抗性発達の抑制

・薬剤で防除する際には、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布しましょう。

〇花粉媒介昆虫のミツバチ、マルハナバチや天敵に対する影響日数に注意して薬剤を選択しましょう。

〇「栃木県農薬危害防止運動」実施中（令和６年11 月から令和７年１月）

・農薬は適正に管理しましょう。また、農薬を使用する際には、容器のラベルに記載された内容を遵守し、農薬による事故等の発生を防止しましょう。

・薬剤散布の後には必ず作業内容を記録し、防除履歴を作成しましょう。

１か月気象予報（予報期間１月25 日から２月24 日　１月23 日　気象庁発表）

・寒気の影響を受けにくいため、向こう１か月の気温は高いでしょう。特に、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

項　　目	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気　　温	２０	３０	**５０**
降 水 量	３０	３０	**４０**
日照時間	３０	**４０**	３０

詳しくは農業総合研究センター 環境技術指導部 防除課（℡ 028-665-1244）までお問合せください。

病害虫情報発表のお知らせはX（旧ツイッター）「栃木県農政部(@tochigi_nousei)」、農業総合研究センターホームページ(https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html)でもご覧になれます

～栃木県からのお知らせです～

11月～１月は、「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。

・安全作業の第一歩！　農薬散布時の身支度は万全に！
・いつものチェック！　農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！
・農薬散布のその前に！　風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！
・周辺への配慮！　住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう！
・農薬散布のその後に！　防除器具の洗浄も必ず行いましょう！